

総社市における多文化共生推進施策 に関する意識調査報告書

総社市 市民生活部

人権・まちづくり課 国際・交流推進係

平成 28 年 6 月

はじめに

総社市は平成 21 年 4 月、人権・まちづくり課内に国際・交流推進係を新設し、「国籍を越えた多文化共生のまちづくり」をキーワードに、多文化共生施策を市政の重要施策と位置づけています。平成 22 年度からは文化庁「生活者としての外国人のための日本語教育事業」の委託を受け、市を事業主体とする地域日本語教室を開設し、それと並行して、地域の日本語教育を担う人材育成事業として日本語指導者養成研修を始めました。

日本語教室を運営する中でさまざまな問題が起こり、今後の日本語教室の方向性や地域における日本語教室のあり方を見つめ直す必要性に迫られる中、総社市日本語教育事業運営委員兼コーディネーターである岡山大学大学院社会文化科学研究科・中東靖恵准教授の提言のもと、平成 23 年度に、日本語教室の主な対象者である南米系定住外国人を対象に、日本語教育やコミュニケーション問題に関する実態調査を行い、その結果を『総社市における南米系定住外国人の言語生活実態調査報告書』（平成 24 年 7 月）にまとめました。

一方、日本語教室と並行して、平成 22～23 年度の 2 年間行った日本語指導者養成研修は、実態に合わない側面がありました。総社市は平成 2 年の出入国管理及び難民認定法の改正後、急速にブラジル人を中心とするニューカマーが増加した地域であり、日本人市民はこれまで外国人とほとんど接触した経験がないこと、そのため外国人に接すること自体、心理的な負担が大きいことがその要因であったようです。

外国人市民から日本語教室の継続が要望され、日本語教育を支援する人材育成研修のあり方を抜本的に改革しなければならない中、中東靖恵准教授の指導のもと、平成 24 年度からは、日本語指導者養成ではなく、地域住民として外国人市民の日本語学習をサポートする「日本語学習サポーター育成研修」に大きく方向転換をすることとなりました。また、同時に、多文化共生事業や日本語教育事業を推進し地域社会に根付かせるためにも、日本人市民に対し意識調査を行うことにしました。

少子高齢化を迎える日本では、今後ますます外国人人口が増えていくと考えられます。日本語能力が十分でなく、日本語で意思疎通をすることが難しい外国人が増える中、日本人市民にとっても外国人市民にとっても「住みよいまちづくり」を実現するためには、どうすればよいのか。その課題を地域全体で考え、調査の結果を外国人支援の一環として本市の多文化共生施策に役立てていきたいと思えます。

最後になりましたが、本調査の実施にあたり、ご協力いただきました多くの方々により御礼申し上げます。

平成 28 年 6 月

総社市市民生活部人権・まちづくり課国際・交流推進係

目 次

はじめに	1
1. 総社市における多文化共生事業の概要	3
2. 総社市における多文化共生推進施策に関する意識調査の概要	5
3. 調査の結果.....	6
【1】属性	6
【2】地域社会での人付き合い・社会活動について	11
【3】地域社会での外国人との関わり合い・交流について	14
【4】地域社会に暮らす外国人に対する意識について	17
【5】総社市における多文化共生推進施策について	22
資料：調査票.....	30

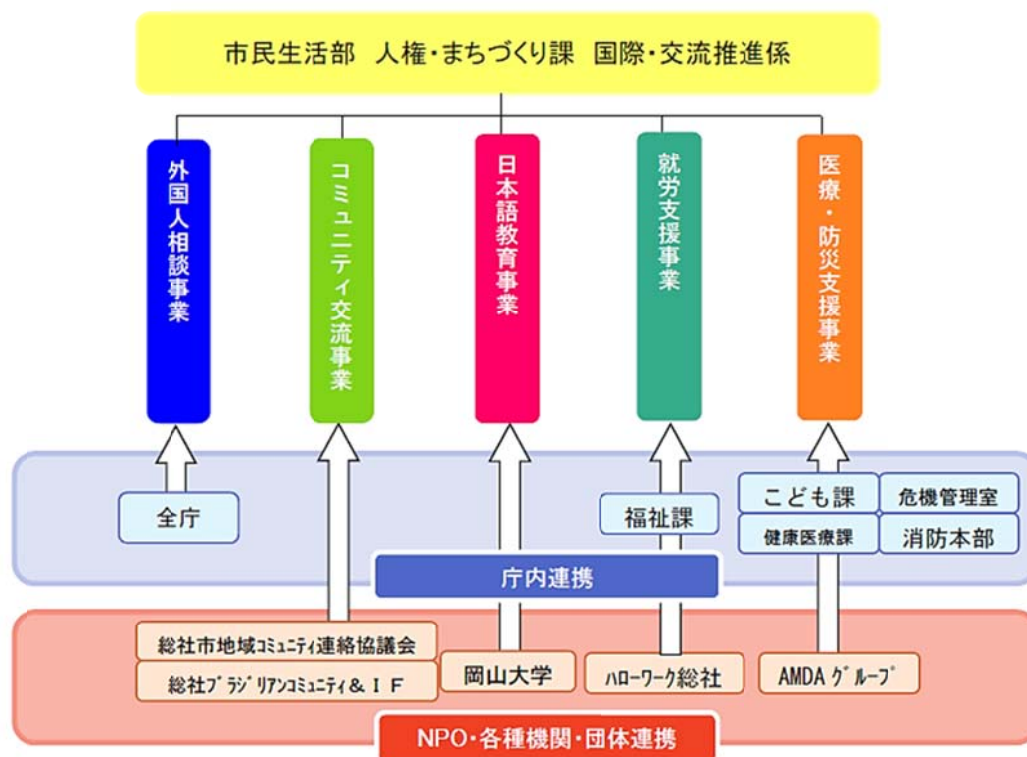
1. 総社市における多文化共生事業の概要

総社市には、三菱自動車を中心とした自動車部品工場が集積した地域があり、平成2年の出入国管理及び難民認定法改正以降、南米系ニューカマーであるブラジル人、ペルー人をはじめとする多くの外国人労働者が雇用されました。外国人労働者の多くは非正規雇用等の不安定な就労状況にあり、平成20年秋のリーマン・ショックに端を発した経済危機により多大な影響を受け、その多くが解雇されました。

市はこうした事態を受け、平成20年12月に、解雇された日系ブラジル人等の相談窓口として、商工観光課内にブラジル人通訳を配置し、雇用に関する相談業務を行ってまいりましたが、解雇に起因する問題は就労問題だけに留まらず、住宅、医療、保険、教育など日常生活全般に関して複雑多岐に及んでいました。

そのような状況の中、平成21年4月、外国人市民の生活全般に関わる自立支援を行う目的で人権・まちづくり課内に国際・交流推進係を新設しました。「国籍を越えた多文化共生のまちづくり」をキーワードに、多文化共生施策を市政の重要施策と位置づけ、係設置直後から「外国人市民との顔が見える関係づくり」を目指し、きめ細やかな相談業務を通じて聞こえてくる外国人市民の声を反映した特徴のある多文化共生事業を展開しています。

現在、外国人相談事業、コミュニティ交流事業、日本語教育事業、就労支援事業、医療・防災支援事業の5つを柱に、県内外の各種団体と連携・協力し、他団体の活動経験から得られたノウハウや知識を活かした多文化共生事業を推進しています。

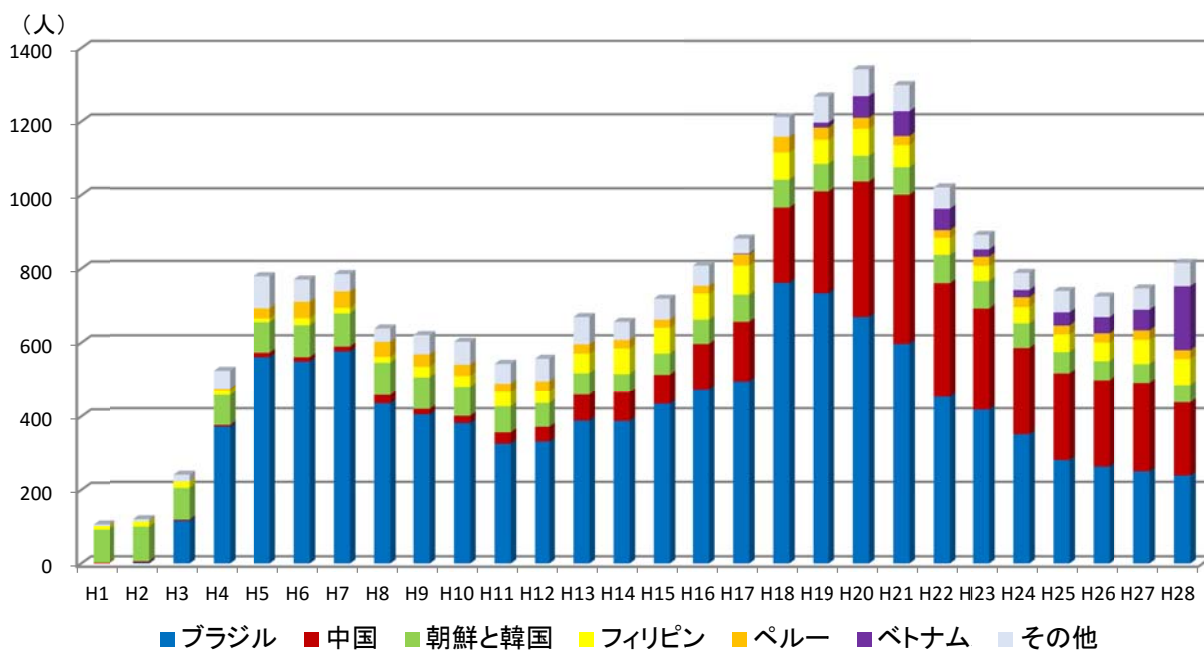


総社市の外国人市民は、平成 28 年 4 月 1 日現在、814 人であり、総人口 67,912 人の 1.20% を占めています。国籍別では、ブラジル (29.1%)、中国 (24.4%)、ベトナム (21.1%) が多く、総計 26 カ国の外国人市民が居住しています。

在留資格別に見ると、ブラジル人を中心とした南米出身者は「定住者」又は「永住者」及びその配偶者、中国人・ベトナム人は「技能実習」がほとんどです。平成 20 年の経済状況の悪化に伴う非正規職員の派遣切り等により在留外国人人口は減少していましたが、平成 27 年度以後は増加に転じています。

総社市は外国人総数を占めるブラジル人の割合が岡山県内で最も高い地域ですが、近年ではブラジル人は減少傾向にあり、一方、ベトナム、中国、フィリピン、インドネシアなどアジア諸国出身者の割合は増加しています。外国人市民の多国籍化とともに、技能実習生、日本人配偶者が増えるなど、外国人市民の状況の変化により行政に対するニーズも多様化しています。

【在留外国人人口の推移（平成 1～28 年度 4 月 1 日現在）】



■外国人支援をはじめとする総社市の多文化共生施策については、総社市役所ホームページを参照。

<http://www.city.soja.okayama.jp/jinken-machi/kurashi/tabunkakyousei/tabunkakyousei.html>

2. 総社市における多文化共生推進施策に関する意識調査の概要

(1) 調査対象者 :

岡山県総社市に居住する16歳以上の日本人市民500人(住民基本台帳から無作為抽出)

(2) 調査期間 :

2016年1月～2月

(3) 調査方法 :

調査票(マークシート方式。巻末収載)を送付・回収する郵送法(自記式)

(4) 調査項目 :

【1】属性

【2】地域社会での人付き合い・社会活動について

【3】地域社会での外国人との関わり合い・交流について

【4】地域社会に暮らす外国人に対する意識について

【5】総社市における多文化共生推進施策について

に関する計42項目。

(5) 調査の実施 :

調査の設計・調査項目の選定は、総社市日本語教室運営委員兼コーディネーターである岡山大学大学院中東靖恵准教授が行い、調査対象者の抽出、調査票の送付・回収は総社市市民生活部人権・まちづくり課国際・交流推進係が行った。

また、調査の実施にあたっては、(株)ラーンズの石井丈司氏に協力を仰いだ。

(6) 調査票回収数 :

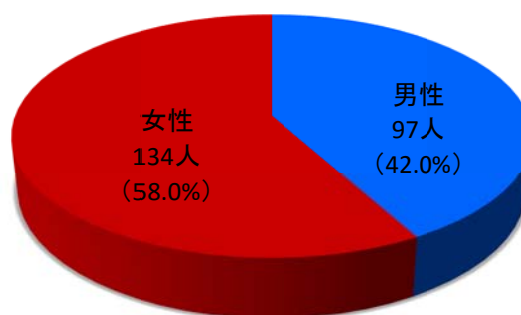
231票(回収率46.2%)

3. 調査の結果

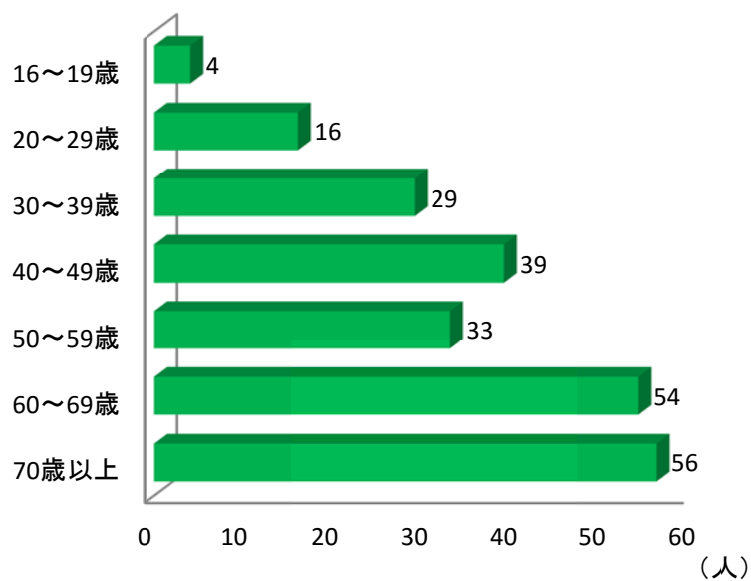
【1】属性

ここでは、対象者の属性と、それに関連して生育地での外国人との接触経験・海外での滞在経験について尋ねた。回答者の約半数は60代以上であり、若年層の回答がやや少ない。職業従事者は約半数、無職、専業主婦は約2割ずつであり、わずかに学生も含まれる。「持ち家」に暮らす人が8割以上と大半を占め、家族形態としては「2世代同居」が約半数、「夫婦のみ」「3世代同居」がそれぞれ約2割ほどである。総社市で生育し長く居住している人が多い。生育地での外国人との接触経験、海外での滞在経験のある人は少ない。

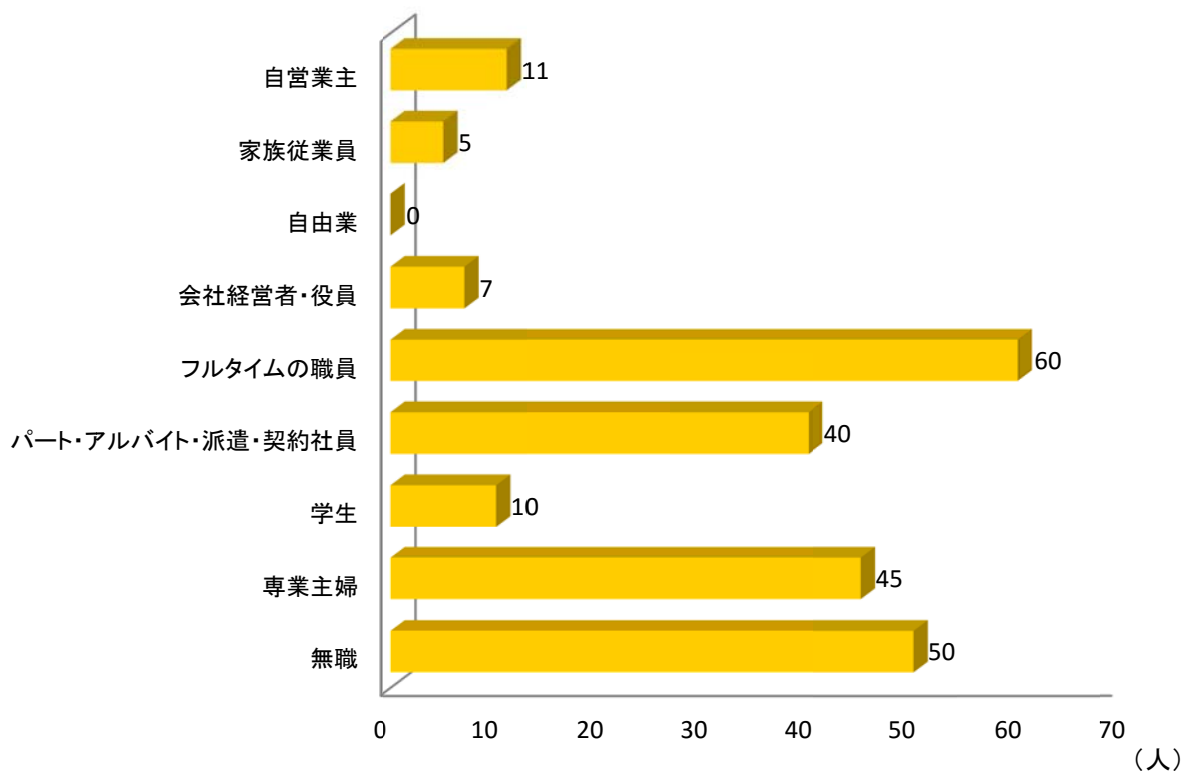
(1) 性別 (N=231)



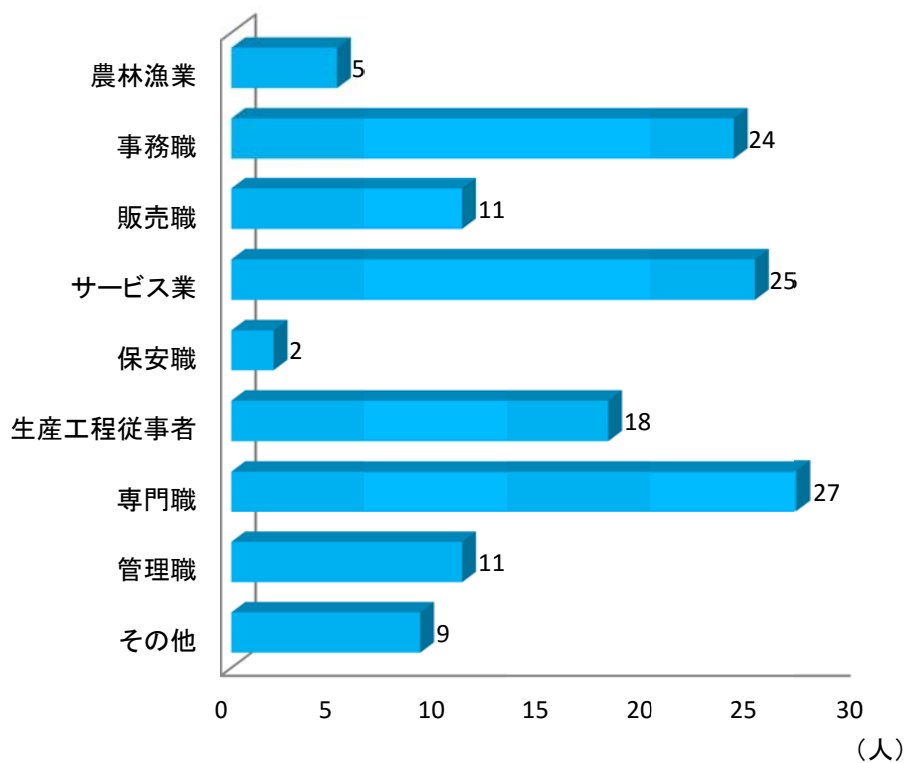
(2) 年齢 (N=231)



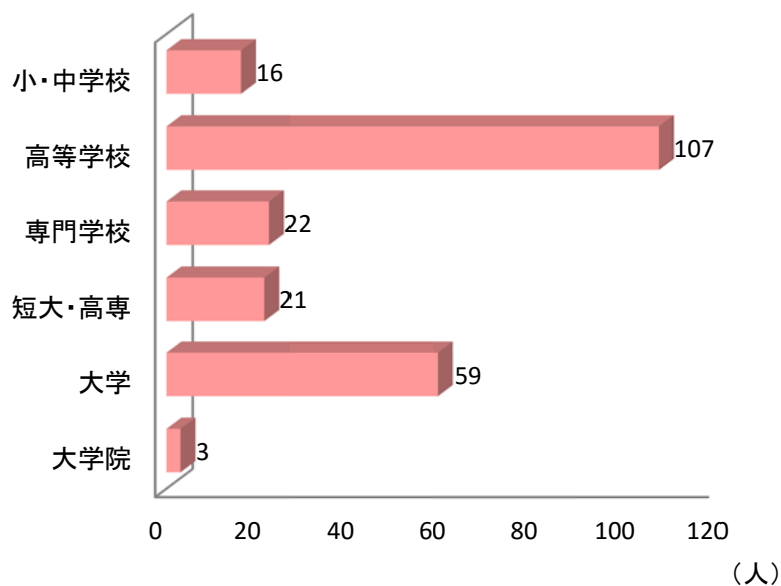
(3) 職業 (N=228)



(4) 職業の業種 (N=230, 複数回答) 無職 : 101

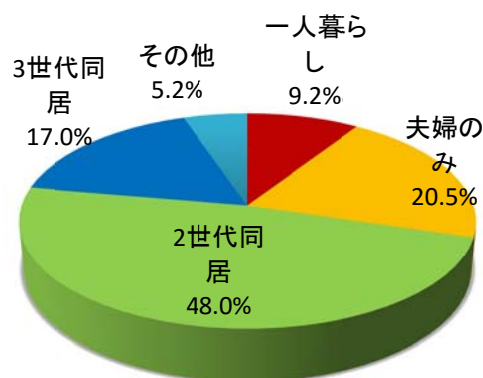


(5) あなたが最後に通った（現在通っている）学校はどれにあたりますか？（N=228）



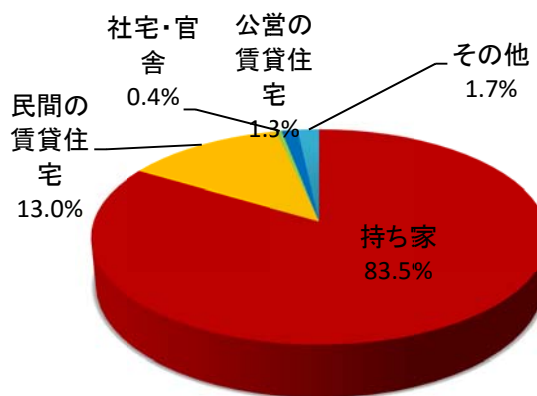
(6) あなたは現在、どなたと暮らしていますか？（N=229）

	人数	%
一人暮らし	21	9.2
夫婦のみ	47	20.5
2世代同居	110	48.0
3世代同居	39	17.0
その他	12	5.2

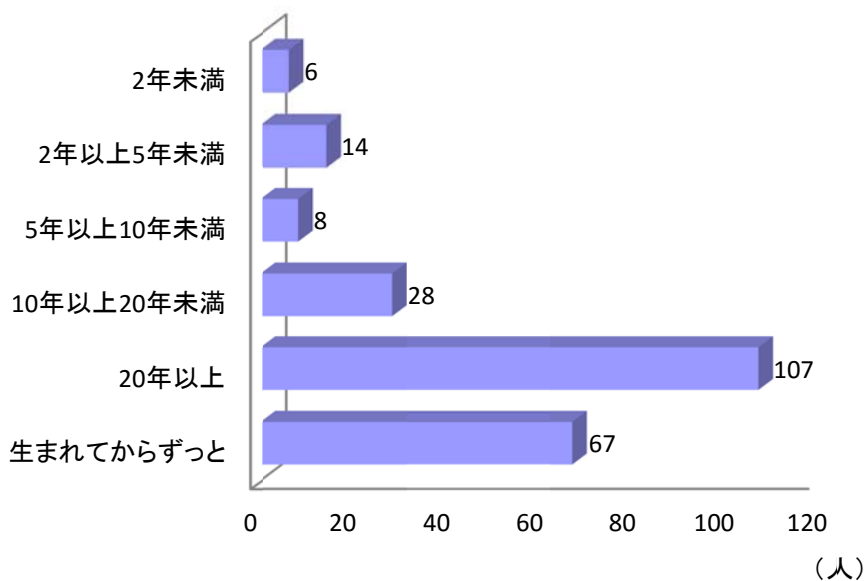


(7) あなたの現在のお住まいはどれに当たりますか？（N=231）

	人数	%
持ち家	193	83.5
民間の賃貸住宅	30	13.0
社宅・官舎	1	0.4
公営の賃貸住宅	3	1.3
その他	4	1.7

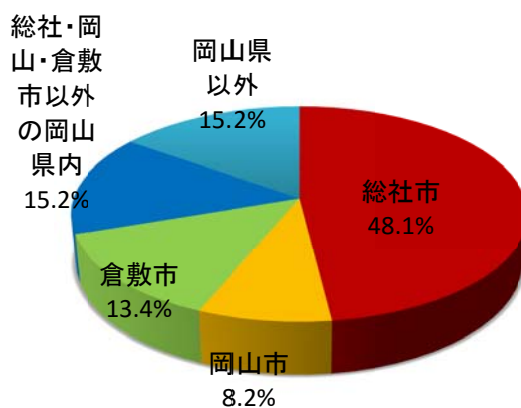


(8) 総社市に住んでどのくらいになりますか？ (N=230)



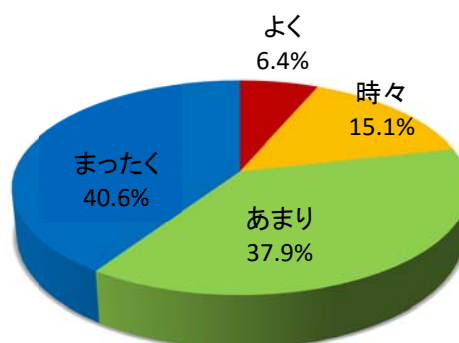
(9) 生まれてから 15 歳までの間に、もっとも長く住んでいたのはどこですか？ (N=231)

	人数	%
総社市	111	48.1
岡山市	19	8.2
倉敷市	31	13.4
総社・岡山・倉敷市以外の岡山県内	35	15.2
岡山県以外	35	15.2



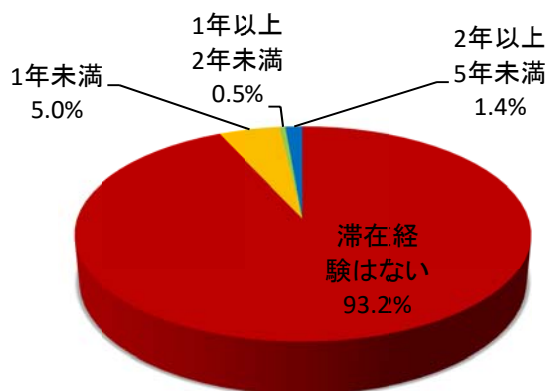
(10) 生まれてから 15 歳まで住んだ場所で、外国人と顔を合わせることはありましたか？
(N=219)

	人数	%
よくあった	14	6.4
時々あった	33	15.1
あまりなかった	83	37.9
まったくなかった	89	40.6



(11) 海外に長期間滞在したことはありますか？滞在経験がある場合、どのくらいの期間でしたか？ (N=219)

	人数	%
滞在経験はない	204	93.2
1年未満	11	5.0
1年以上2年未満	1	0.5
2年以上5年未満	3	1.4
5年以上	0	0.0

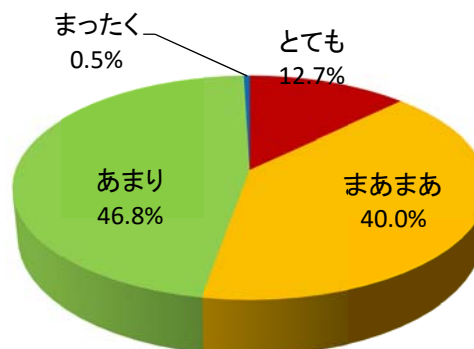


【2】地域社会での人付き合い・社会活動について

ここでは、地域社会での人付き合いの度合い、地域社会の活動への参加と、地域社会に貢献したいと思う度合いや総社市への居住希望について尋ねた。「親戚付き合い」や「近所付き合い」については、「あまり付き合いがない」と答えた人が約半数を占めた。一方、自治会や町内活動への参加は6割程度であり、地域社会での活動については一人が複数の団体に活動をしているケースが割と多い。また、「総社市の役に立ちたい」と思う人は7割を越え、「総社市にずっと住み続けたい」と希望する人は実に9割を超える。

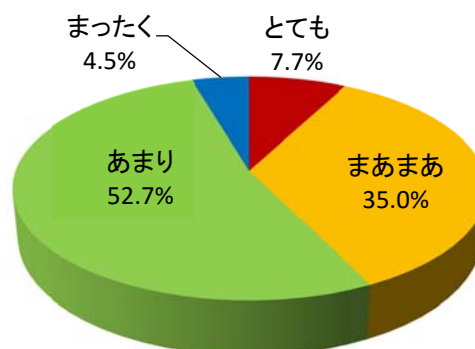
(12) あなたはどの程度、親戚付き合いをしていますか？ (N=220)

	人数	%
とても多い	28	12.7
まあまあ多い	88	40.0
あまり多くない	103	46.8
まったくない	1	0.5



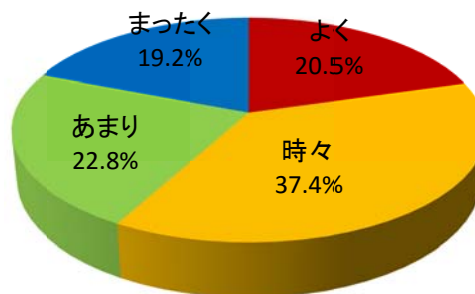
(13) あなたはどの程度、近所付き合いをしていますか？ (N=220)

	人数	%
とても多い	17	7.7
まあまあ多い	77	35.0
あまり多くない	116	52.7
まったくない	10	4.5



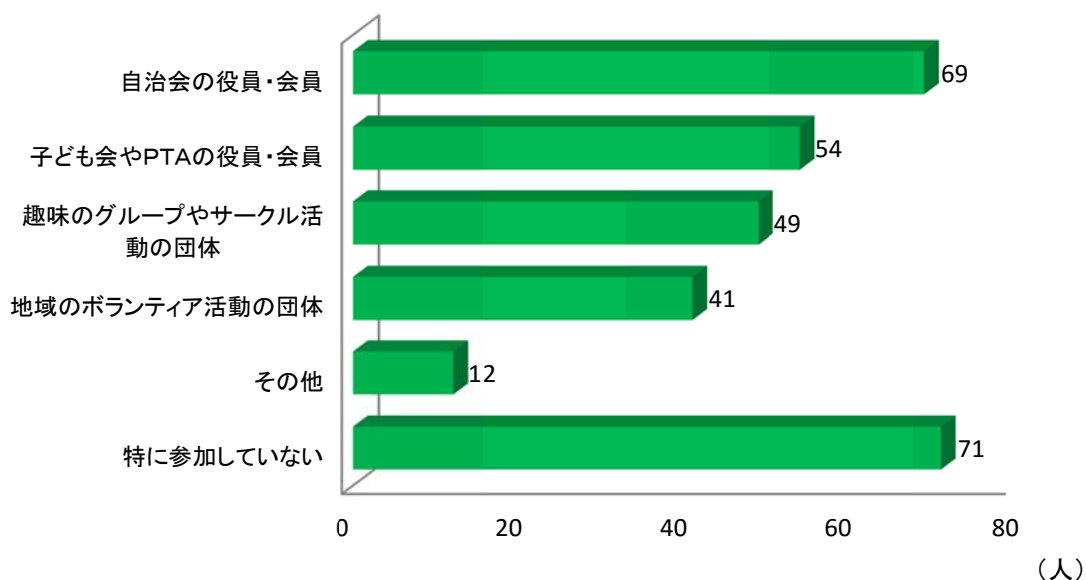
(14) あなたはどの程度、自治会や町内会活動に参加していますか？ (N=219)

	人数	%
よく参加する	45	20.5
時々参加する	82	37.4
あまり参加しない	50	22.8
まったく参加しない	42	19.2



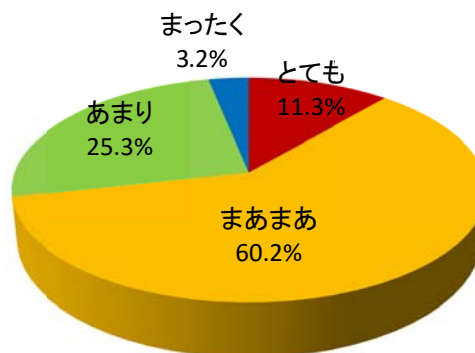
(15) あなたは日頃、どのような地域社会の活動に参加していますか？

(N=220, 複数回答)



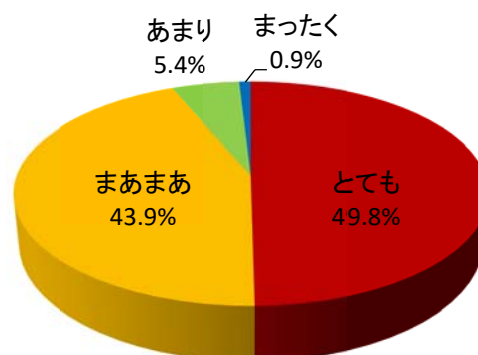
(16) 総社市のためになることをして、役に立ちたいと思いますか？ (N=221)

	人数	%
とても思う	25	11.3
まあまあ思う	133	60.2
あまり思わない	56	25.3
まったく思わない	7	3.2



(17) これからもずっと総社市に住み続けたいですか？ (N=221)

	人数	%
とても思う	110	49.8
まあまあ思う	97	43.9
あまり思わない	12	5.4
まったく思わない	2	0.9

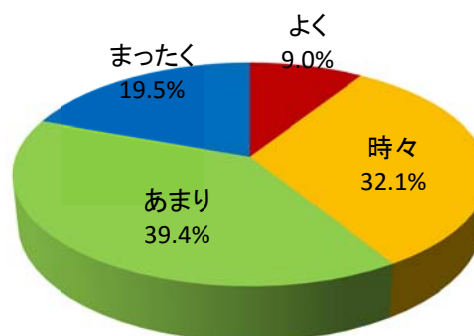


【3】地域社会での外国人との関わり合い・交流について

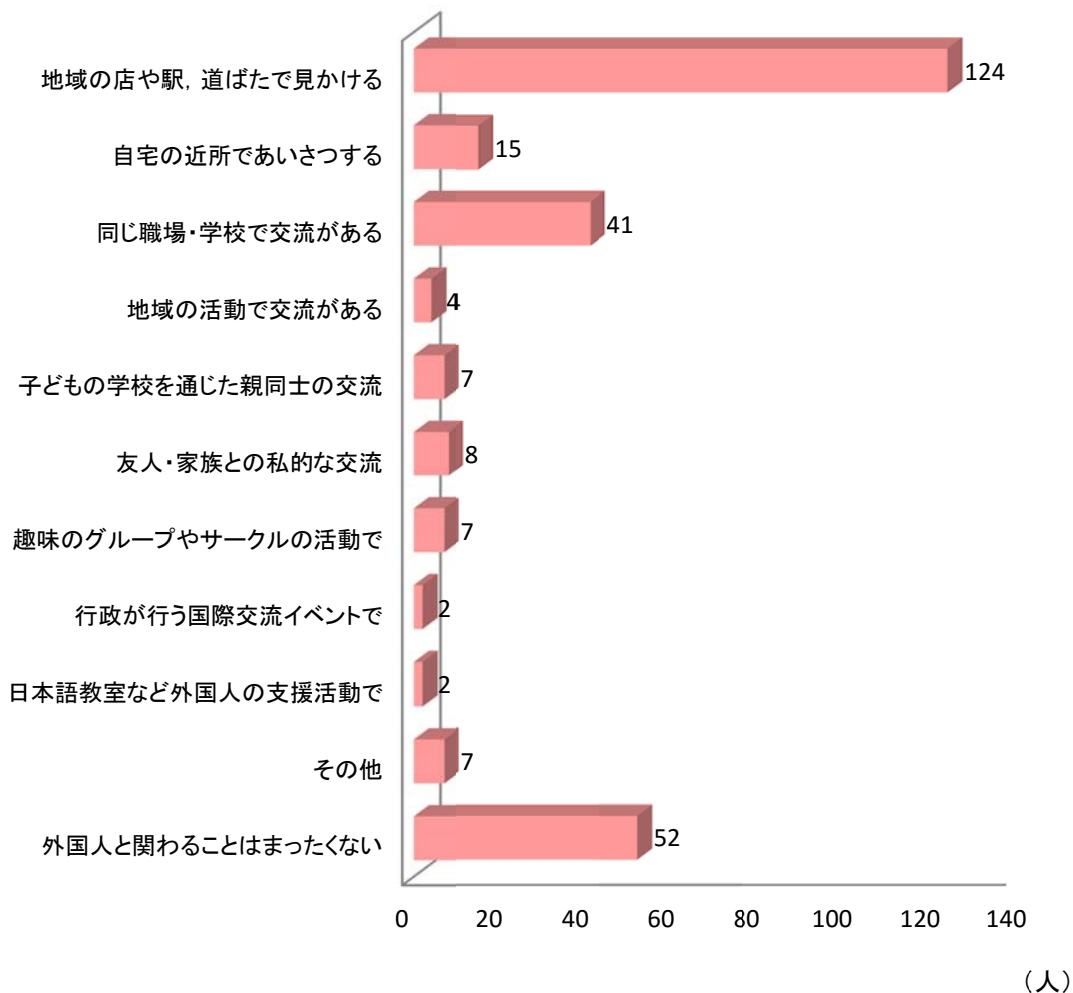
ここでは、地域社会での外国人との関わり合いや交流について尋ねた。日頃、地域社会で外国人と顔を合わせることにある人は約4割に留まる。外国人との関わり合いについては「地域の店や駅、道ばたで見かける」という回答が約6割を占め、「外国人と関わることはまったくない」という人も2割以上おり、外国人と交流すると言えるような付き合いはほとんどない。日頃、外国人と話す機会のない人が8割に上り、行政の開催する外国人との交流事業やイベントに参加したことが「まったくない」と答えた人も8割を超える。

(18) あなたが生活している地域で、外国人と顔を合わせることがありますか？(N=221)

	人数	%
よくある	20	9.0
時々ある	71	32.1
あまりない	87	39.4
まったくない	43	19.5

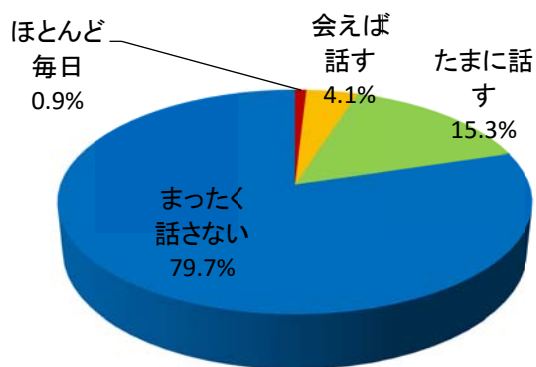


(19) あなたは日ごろ、外国人とどのような関わり合いや交流がありますか？（過去の経験含む）（N=217, 複数回答）



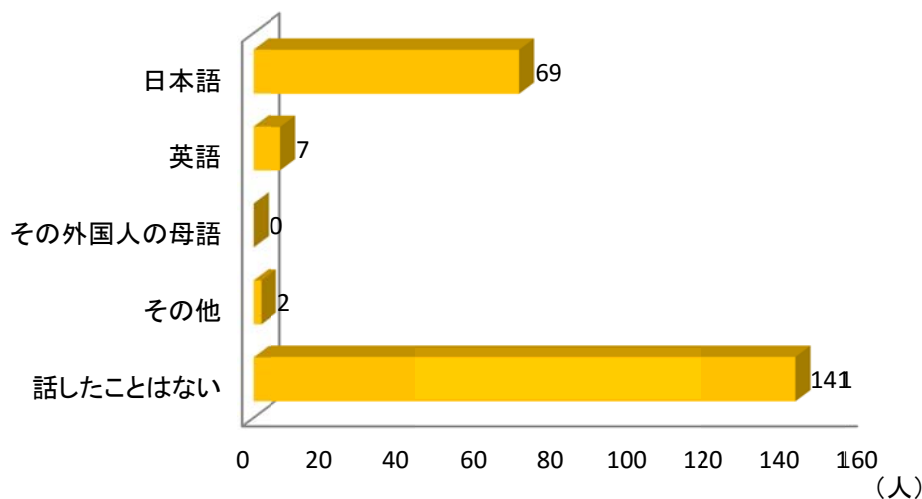
(20) あなたが生活している地域で、外国人とどの程度話しますか？（N=222）

	人数	%
ほとんど毎日話す	2	0.9
会えば話をする	9	4.1
たまに話をする	34	15.3
まったく話さない	177	79.7



(21) あなたは地域に暮らす外国人と、どのような言語で会話をしますか？

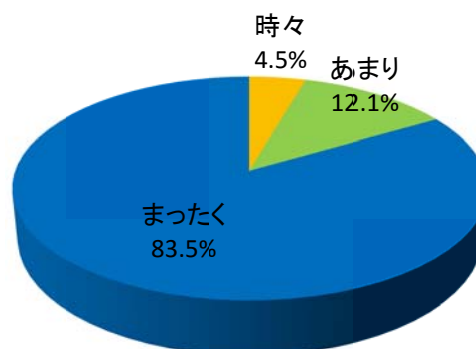
(N=219, 複数回答)



(22) 行政の開催する外国人との交流事業やイベントに参加することがありますか？

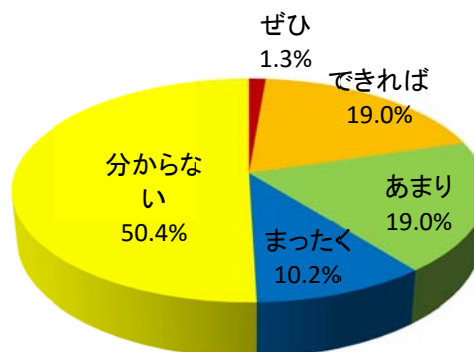
(N=224)

	人数	%
よく参加する	0	0.0
時々参加する	10	4.5
あまり参加しない	27	12.1
まったく参加しない	187	83.5



(23) 今後、行政の開催する外国人との交流事業やイベントに参加したいですか？ (N=226)

	人数	%
ぜひ参加したい	3	1.3
できれば参加したい	43	19.0
あまり参加したくない	43	19.0
まったく参加したくない	23	10.2
分からない	114	50.4

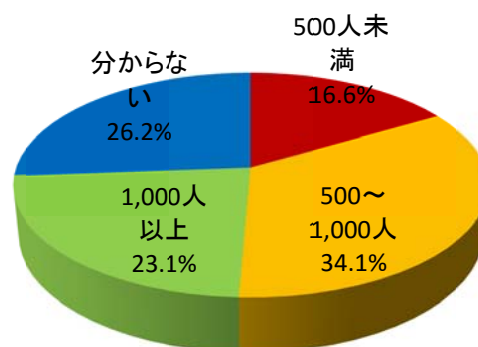


【4】地域社会に暮らす外国人に対する意識について

ここでは、地域社会に暮らす外国人に対する意識について尋ねた。総社市に暮らす外国人人口は調査実施当時 800 人程度であったが、その数を把握している市民は多くない。外国人が住んでいて良かったことや困っていることについては「特にない」の回答が 6~7 割を占め、その背後には日頃からの外国人との接触の少なさがあると考えられる。外国人の増加についても「どちらとも言えない」、外国人市民との関わり合いについても「必要最低限に」「分からない」との回答が多く、「積極的に関わりたい」という人は少ない。

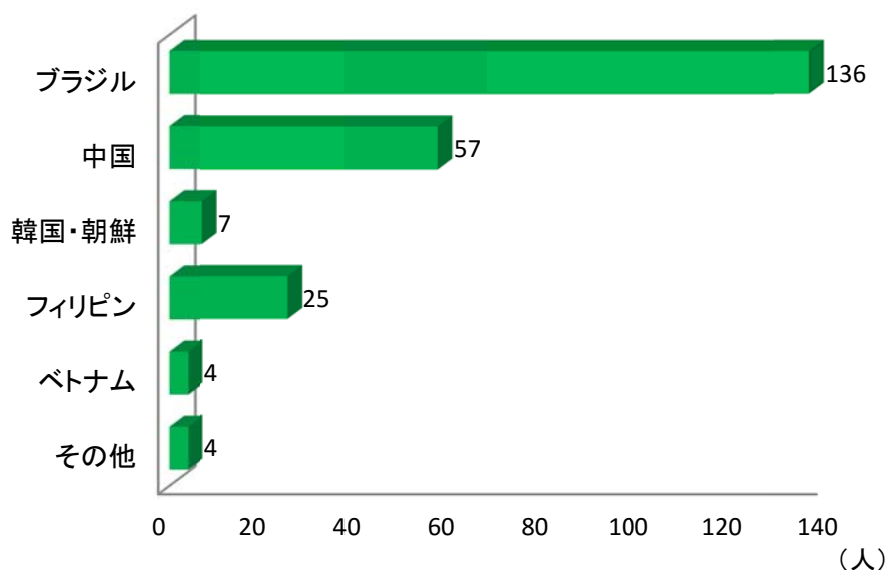
(24) 総社市にはどのくらいの数の外国人が住んでいると思いますか？ (N=229)

	人数	%
500人未満	38	16.6
500~1,000人	78	34.1
1,000人以上	53	23.1
分からない	60	26.2

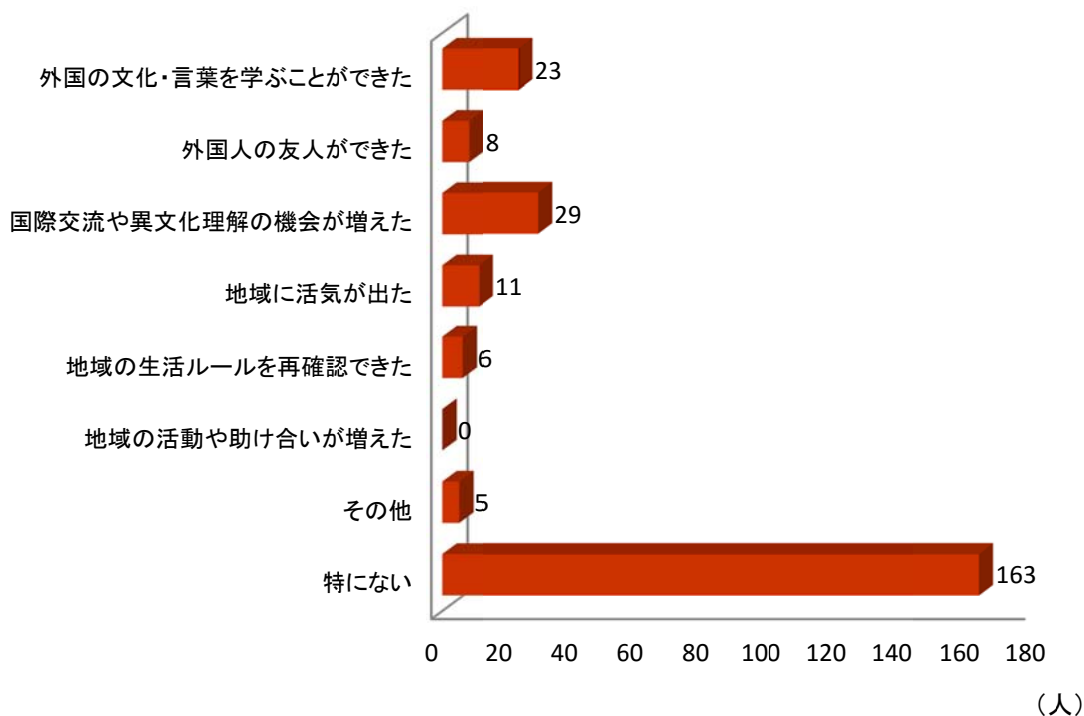


(25) 総社市に暮らす外国人はどこの国・地域出身の人が一番多いと思いますか？

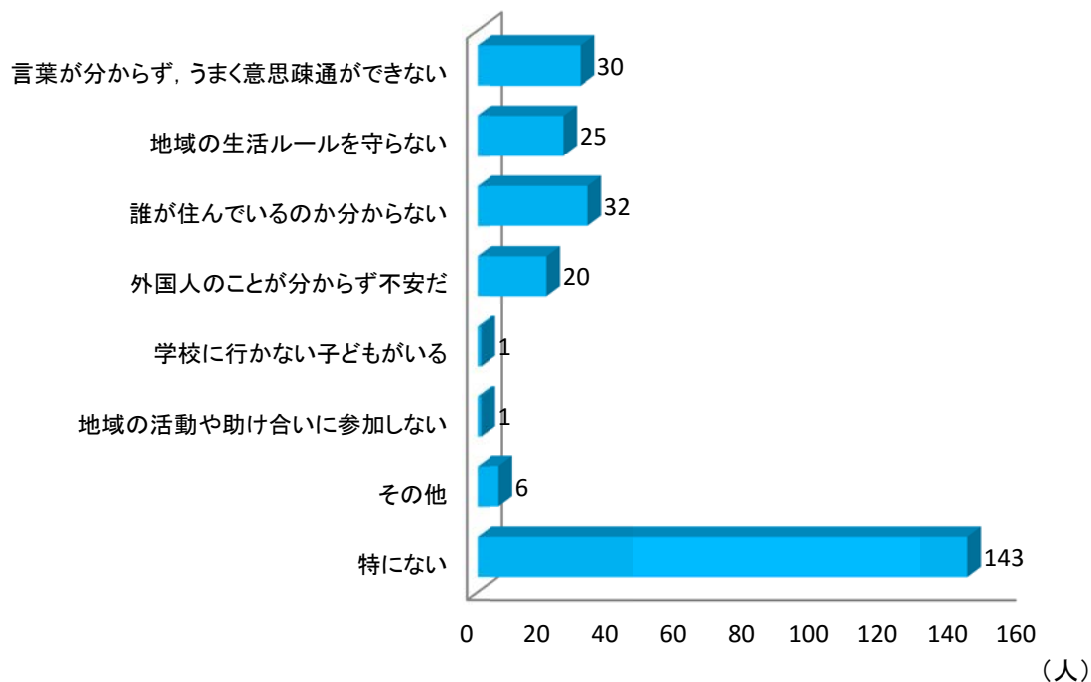
(N=222, 複数回答)



(26) 総社市に外国人が住んでいて良かったと思うことは何ですか？(N=222, 複数回答)

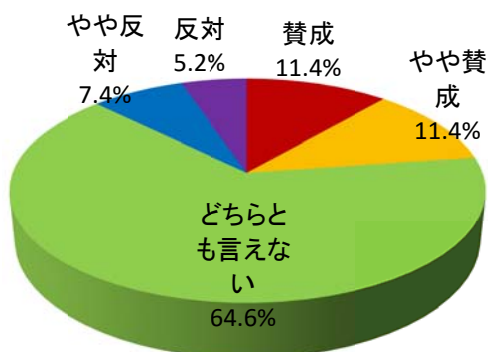


(27) 総社市に外国人が住んでいて困っていることは何ですか？(N=219, 複数回答)



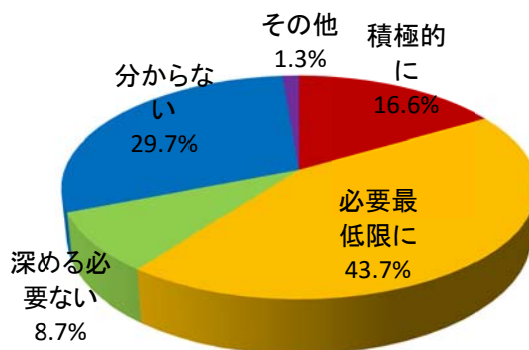
(28) 総社市に外国人が増えることについてどう思いますか？ (N=229)

	人数	%
賛成	26	11.4
やや賛成	26	11.4
どちらとも言えない	148	64.6
やや反対	17	7.4
反対	12	5.2

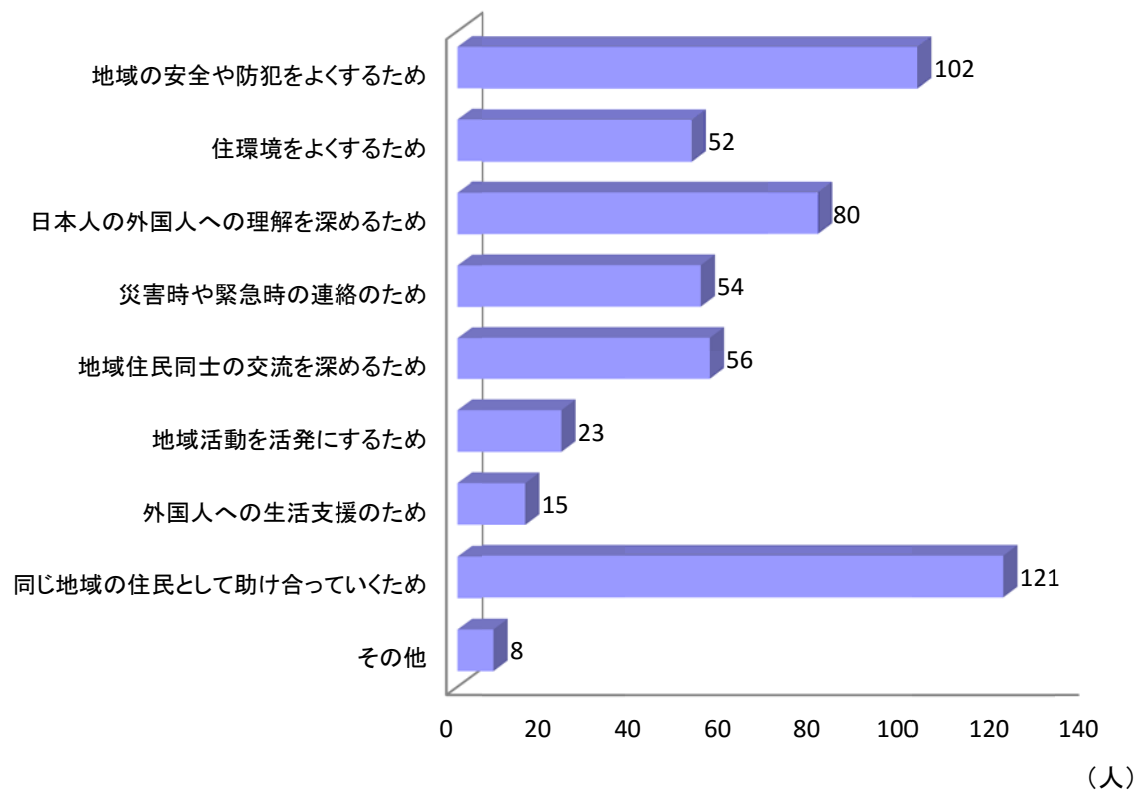


(29) 総社市の日本人市民は今後、外国人市民とどのように関わったらよいと思いますか？ (N=229)

	人数	%
積極的に関わりを深めていく方がよい	38	16.6
生活上、必要最低限は関わった方がよい	100	43.7
特に関わりを深める必要がない	20	8.7
分からない	68	29.7
その他	3	1.3

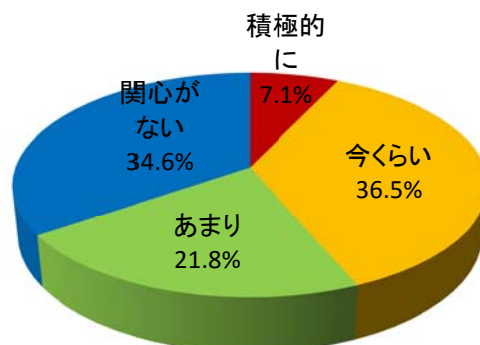


(30) 総社市の日本人市民が外国人市民と関わっていく必要があるとすれば、その理由は
何だと思えますか？（N=215, 複数回答）

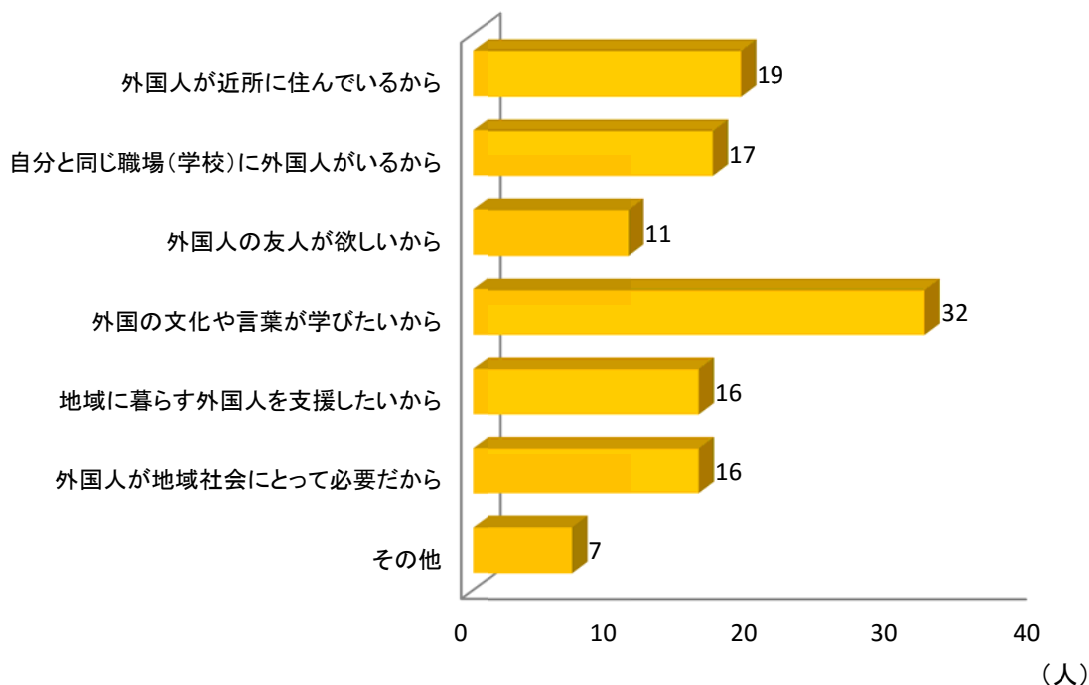


(31) あなた自身は今後、外国人市民とどのように関わりたいと思えますか？（N=211）

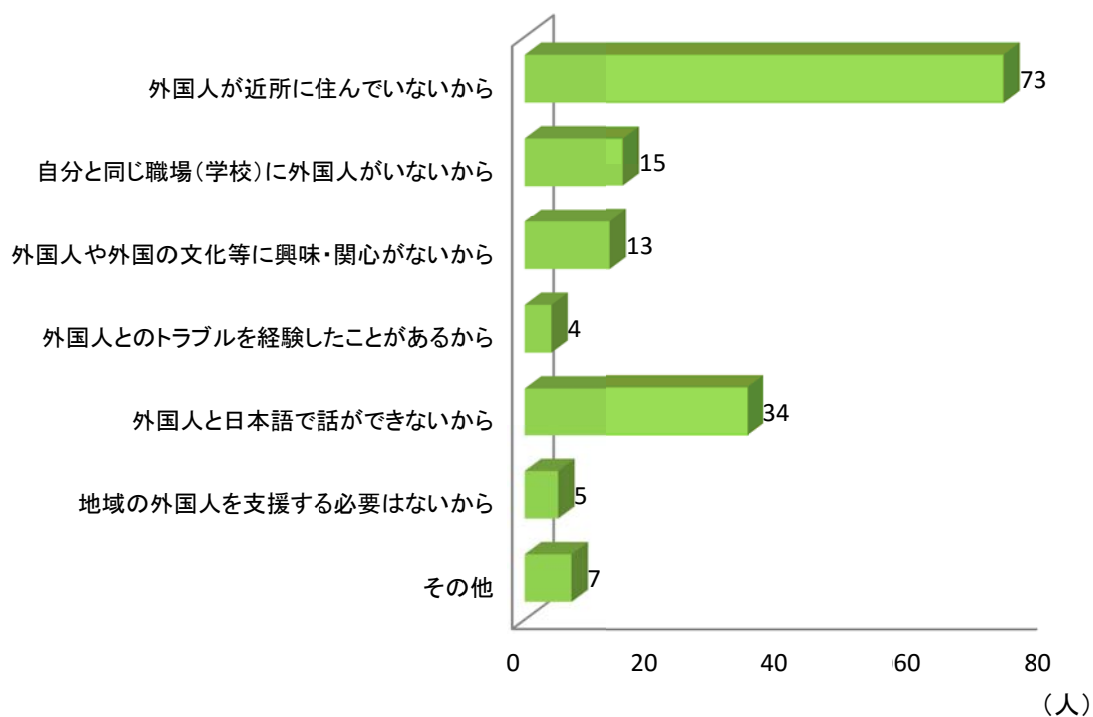
	人数	%
積極的に関わりたい	15	7.1
今くらいの関わり方でよい	77	36.5
あまり関わりたくない	46	21.8
関心がない	73	34.6



(32) 質問 (31) で「積極的に関わりたい」「今くらいの関わり方でよい」を選んだ方。
外国人市民と関わりたい理由は何ですか？ (N=86, 複数回答)



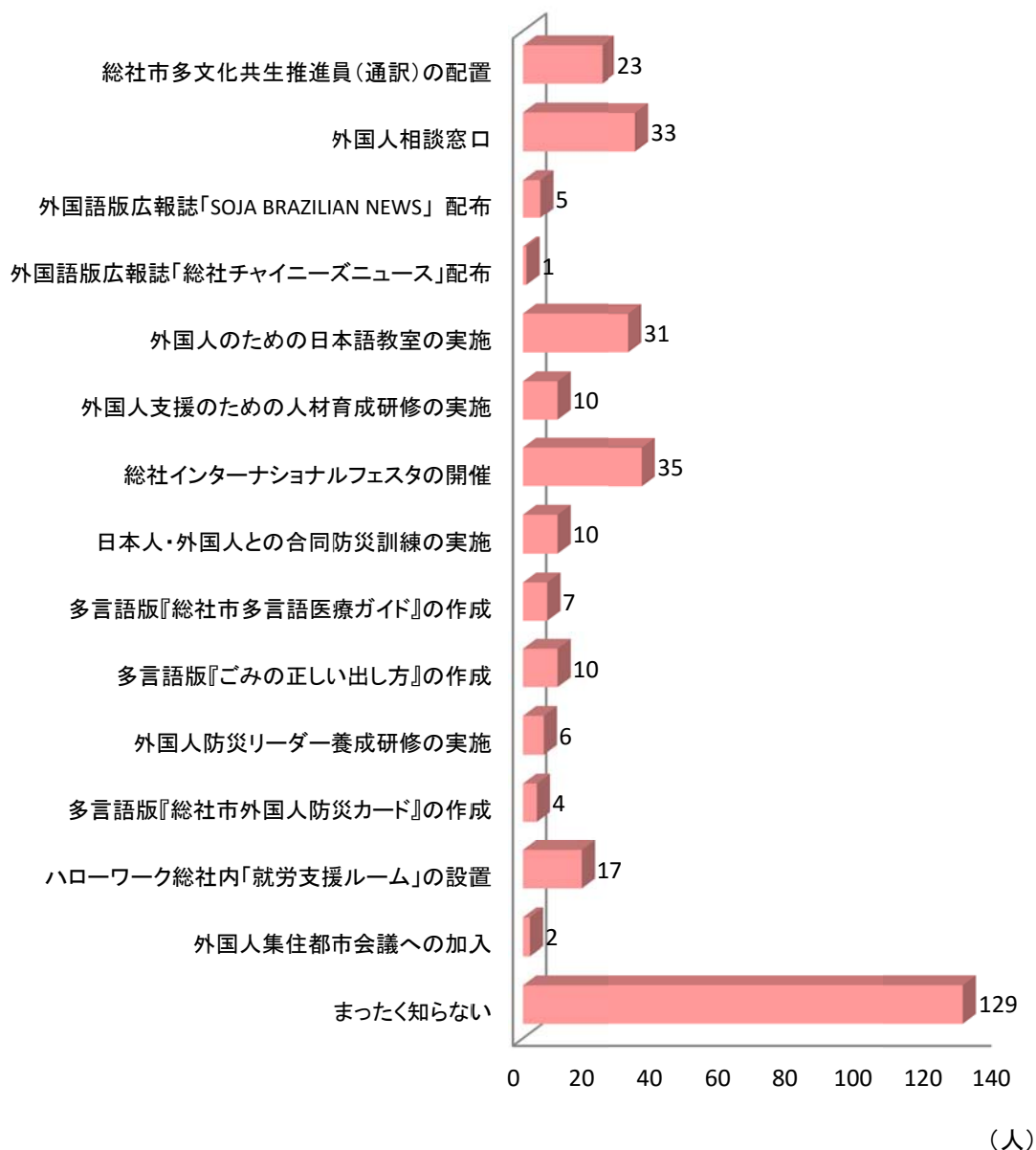
(33) 質問 (31) で「あまり関わりたいくない」「関心がない」を選んだ方。外国人市民と関わりたいくない理由は何ですか？ (N=115, 複数回答)



【5】 総社市における多文化共生推進施策について

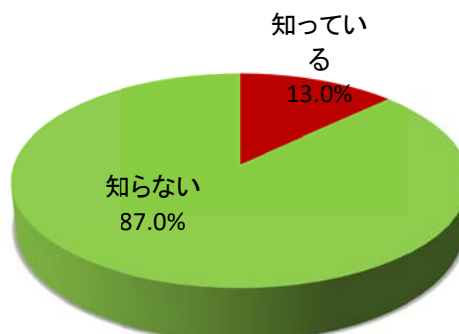
ここでは、総社市における多文化共生推進施策について尋ねた。総社市が現在行っている具体的な事業内容については「まったく知らない」という人が6割を超える。外国人のための日本語教室の存在もほとんど知られておらず、今後の事業運営についても総社市の予算ではなく、国の予算で行うべきだとの回答が多い。外国人市民への要望については、日本の習慣や生活ルールを学んで欲しいという声が多い。「多文化共生」という語の認知度も高くない。自由記述からは、日本人市民からのさまざまな意見があることが分かる。

(34) 総社市が行っている外国人支援に関する行政サービスや事業を知っていますか？知っているものすべてを選んでください。(N=208, 複数回答)

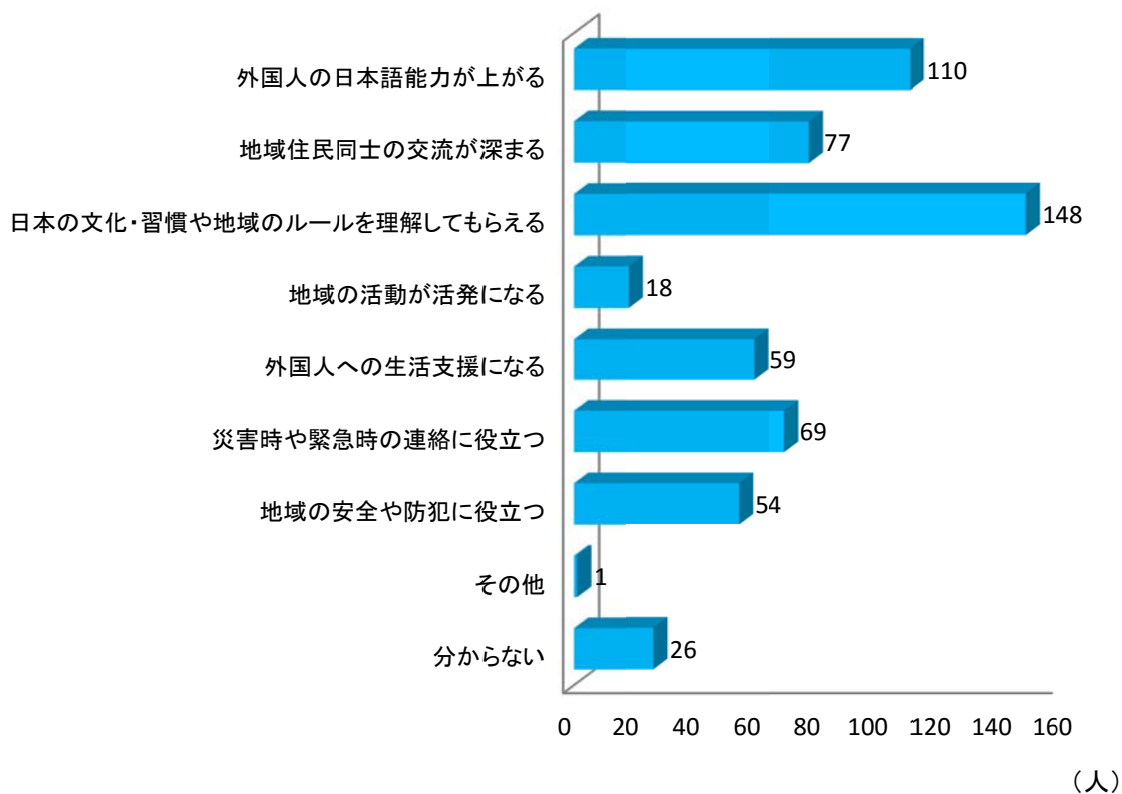


(35) 総社市では地域に暮らす外国人のための日本語教室を平成 22 年度から開設しています。毎週日曜日に市役所で日本語教室が行われていることを知っていますか？(N=216)

	人数	%
知っている	28	13.0
日本語教室に参加している (したことがある)	0	0.0
知らない	188	87.0

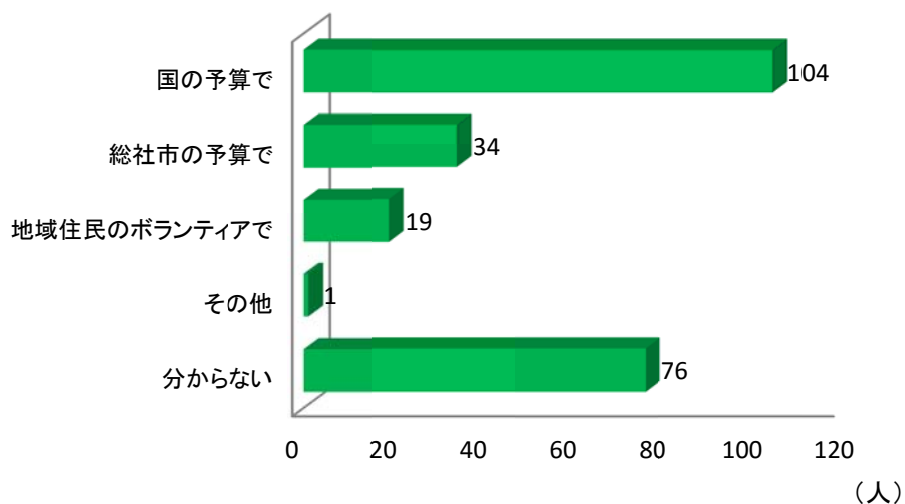


(36) 日本語教室を開くことによってどのような効果が期待できると思いますか (N=211, 複数回答)

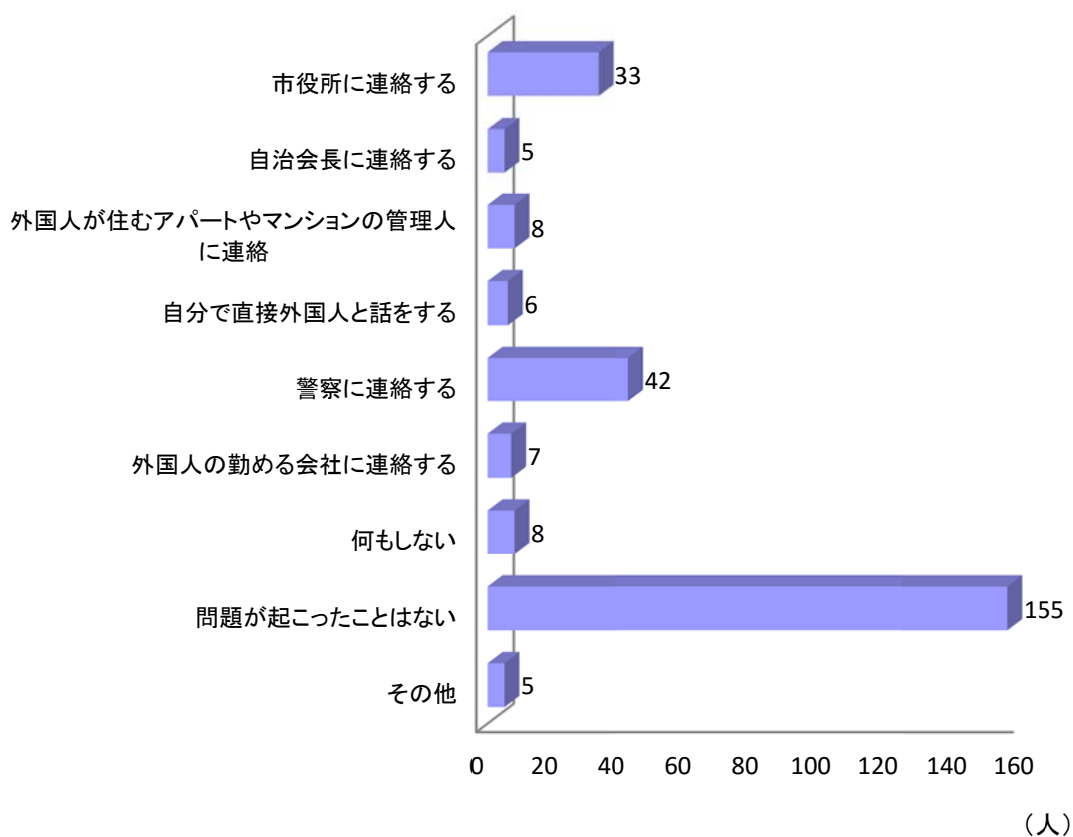


(37) 総社市日本語教室は、現在、文化庁事業として国の補助金によって運営されています。今後はどのような形態によって運営を行うべきだと思いますか？

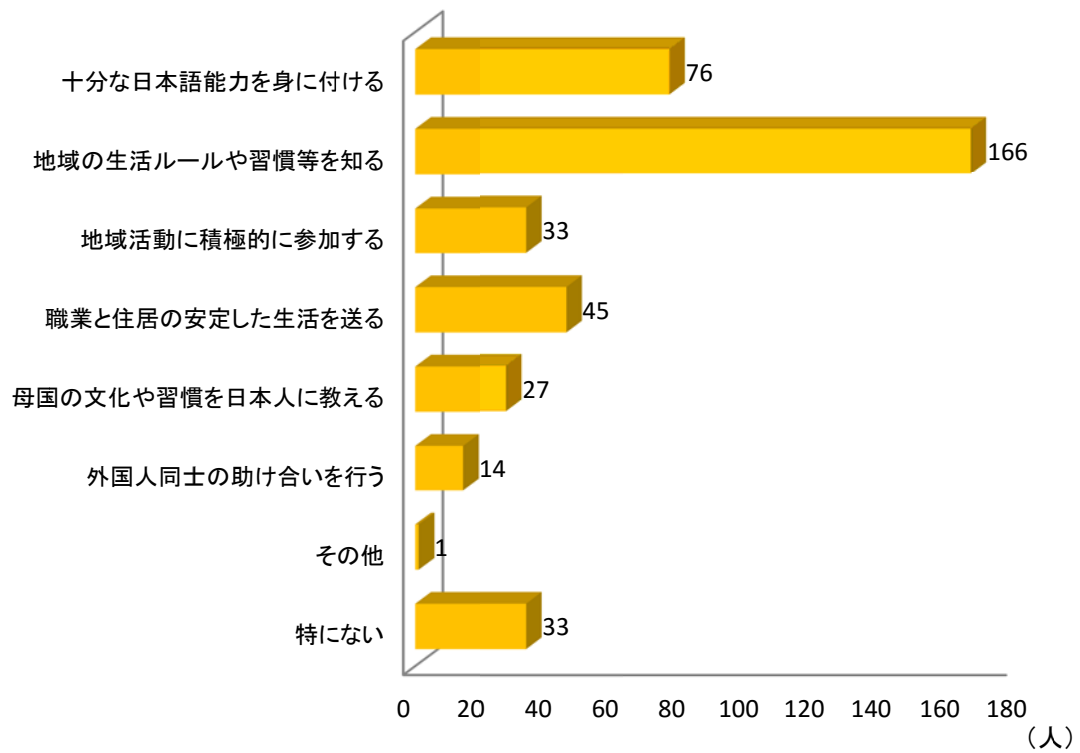
(N=226, 複数回答)



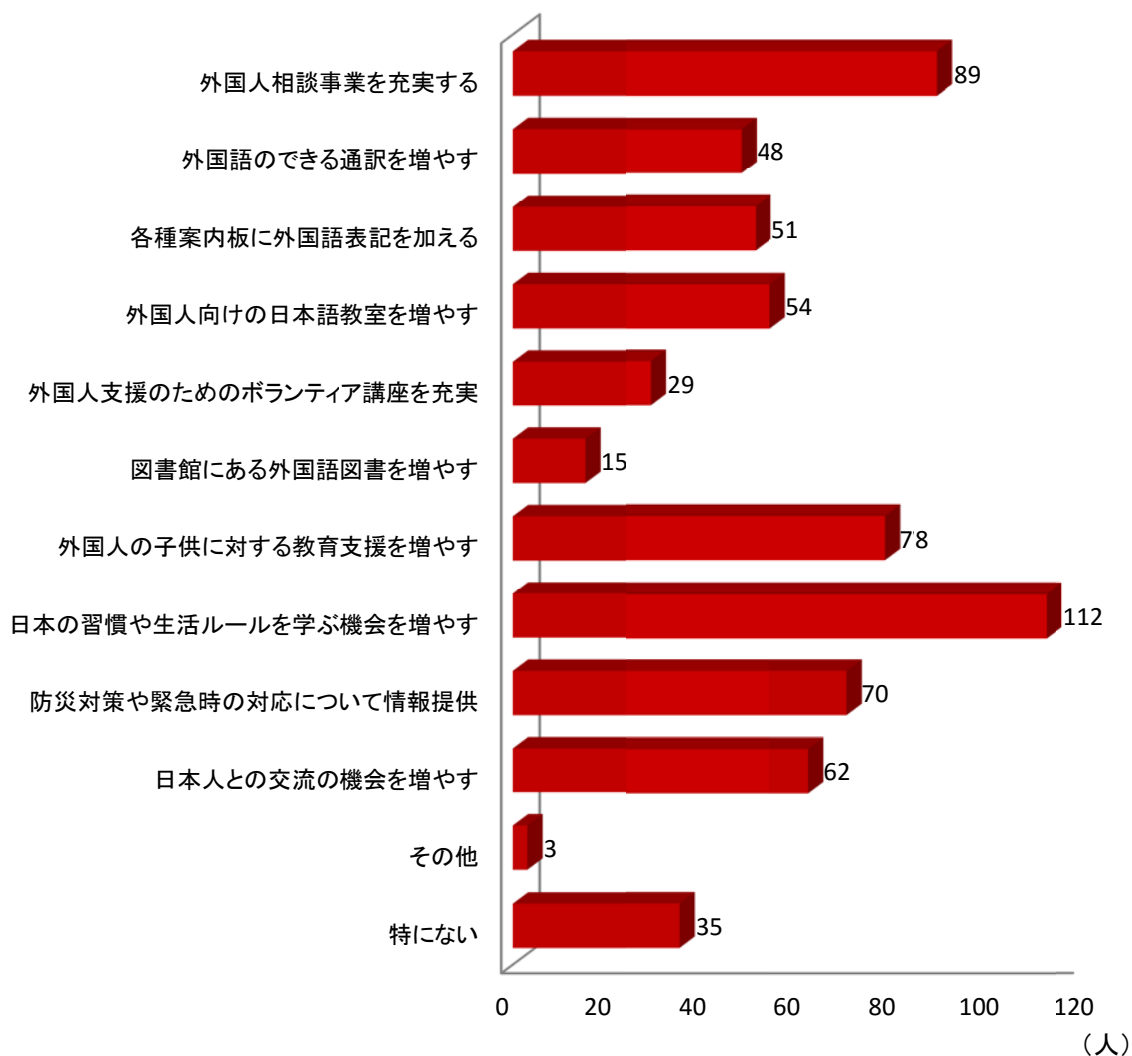
(38) 外国人市民との間で問題が起こった場合、どうしていますか？ (N=221, 複数回答)



(39) 地域に暮らす外国人市民に望むことは何ですか？（N=220, 複数回答）

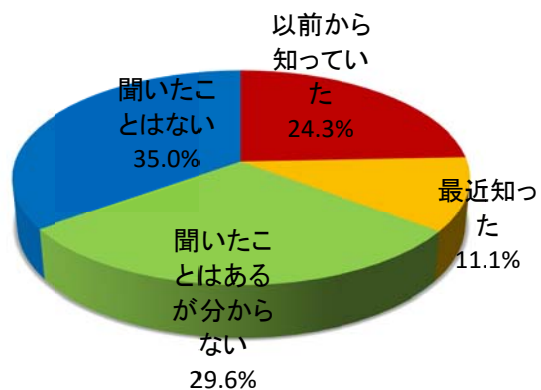


(40) 今後、総社市における外国人支援事業を推進するために、どのようなサービスを充実すべきだと思いますか？（N=221，複数回答）



(41) 「多文化共生」という言葉を知っていましたか？ (N=226)

	人数	%
以前から知っていたし、意味も分かる	55	24.3
最近知り、意味も分かる	25	11.1
聞いたことはあるが、意味はよく分からない	67	29.6
聞いたことはない	79	35.0



(42) 総社市の多文化共生推進施策（外国人支援事業、国際交流事業、日本語教育事業など）についてご意見・ご要望があれば自由に書いてください。

- ・多文化共生も推進したらいいが、まずは自分たちの生活や教育支援に力を入れてもらいたい。
- ・たばこのポイ捨てをしているのを時々見かけたことがある。これは日本人にも言えることだが…。
- ・外国人を支援するのは良いが、これ以上増えてほしくない。まずは日本の文化や習慣を知って日本に暮らしてくなら日本に合わせた常識を身に付けてもらいたい。
- ・多種多様な交流が必要と思う。外国人に対し日本の習慣や生活ルール、生活のマナー等の指導が必要だと思う。
- ・道路表示、案内板などに言葉で分からなくても図形で表示することによって、老人も外国人も理解できるようにすると、事故も減り、字が読めなくても理解できるので、そのようにして欲しいと強く希望する。
- ・もっと気軽に外国人と交流できる場を増やしてほしい。
- ・外国人が入国すれば治安が悪くなり、不用心で心配だ。
- ・海外の人達と言葉を教え合う機会があってほしい。多くの人に知ってもらおう努力が足りないと思った。
- ・外国人の犯罪が一番心配。警察との協力体制は出来ているのだろうか。日本人にとって外国人は脅威であり驚異であると感じる。
- ・小学校、中学校等で、外国人に外国語や生活習慣を学ぶ（教えてもらう）機会をつくったらどうか。それを市会議員に市議会で討議してもらってはどうか。
- ・言葉が通じないととても不安だと思う。それでも互いを理解し良い環境を作っていくことは簡単ではないが、これからも頑張ってください。この度のアンケートでいろいろ知る事が出来た。
- ・総社市民も視野を広げる意味でも外国の文化を学んで、色々な価値観があるということを受け入れた方が良い。日本語を教えながら、日本人も日本の良さを再認識できると思う。
- ・市民の理解度を深めるため、推進事業の具体的なものを広報誌で積極的に開示する必要がある。
- ・今後、日本が大きな問題をかかえることはまちがいない事だと思う。ここに掲げる事業を進めていくには、多大な費用が増し、政府予算では無理が生じると思う。日本の文化、習慣を外国人に充分認識していただくことが必要だと思う。言葉が重要。先ず重要な事項を絞り込んで事業を行っていただきたい。
- ・外国人が増えるのは良いが、治安を良くして欲しい。防犯など。
- ・まずは日本語教育をし、市民も会社も事業主も協力するのが大切。高齢なのでちょっと

よく分からないことがあるので、若い方々でよく考えて上手くやって欲しいと思う。ありがとうございます。

- ・高梁川の西の地域では外国の方に出会う機会はあまりないが、家族が多文化共生事業に参加して話を聞いたり資料を目にして、いろいろ市では事業をされている様子を知った。
- ・算数が出来なくとも理科が出来なくとも人間の優しい心、思いやりを外国人と日本人と共に学んでほしいと思う。外国人の受け入れもほどほどにして多すぎずをお願いします。ありがとうございます。
- ・外国人の方たちに対し、就労の場所が十分確保されているのだろうか？生活の基盤がしっかりしていなければ、相互理解は難しいと思う。未来を担う子供達のために考えていただきたい。
- ・①どの国から来ているのか？②何人ぐらいいるのか？③どんな仕事をしているのか？④その他・・・知らないことばかりなので、情報が欲しい。外国人と日本人が自由に交流できる場を確保するとよいと思う。
- ・今のままでいけば日本の人口が減るばかり。少しでも外国の人に住んでいただき、助けてもらいたい！
- ・外国の方と総社市民との文化交流ができればよいと思う。
- ・一方的に言語や生活習慣を押しつけるのではなく、双方の文化を理解し、共に向上できる支援・施策が良いと思う。
- ・「多文化共生推進施策」については、知らない市民が圧倒的に多いのではないかと思う。もっとPRが必要だと思う。
- ・もっといろいろなイベントなどをして外国人と日本人との交流を増やしてもいいと思う。子供にもいいことだと思う。
- ・ある事柄について全く考え方が異なる事が多いので、お互いに理解する努力が必要だと思う。

資料：調査票

総社市における多文化共生推進施策に関する意識調査

近年、日本に暮らす外国人が増えてきましたが、少子高齢化を迎える日本では今後ますます外国人人口が増えていくと考えられます。

総社市にも現在、28の国と地域から来日した外国人市民が暮らしています。日本語能力が十分でなく、日本語で意思疎通をすることが難しい外国人が増える中、総社市の日本人市民にとっても外国人市民にとっても「住みよいまちづくり」を実現するためには、どうすればよいのでしょうか。

このような総社市が抱える問題を把握するため、総社市に暮らす16歳以上の日本人市民の方々を対象に「総社市における多文化共生推進施策に関する意識調査」を行うこととしました。この調査は、総社市日本語教室運営委員兼コーディネーターである岡山大学大学院中東靖恵准教授との共同研究により行うものです。

総社市における今後のより良いまちづくりを実現するためにも、ご協力のほどよろしくご願ひ申し上げます。

2016年1月

総社市市民生活部人権・まちづくり課
国際・交流推進係

*このアンケートは、無作為抽出により選ばれた皆様に回答していただくよう作成しております。封筒の宛名に書いてあるご本人がご記入ください。

*あなたの名前や住所を書く必要はありません。

*答えた内容は、研究の目的以外には使いませんのでご安心ください。

*このアンケートについて質問がある場合は、以下にお問い合わせください。

総社市市民生活部 人権・まちづくり課 国際・交流推進係
電話 (0866) 92-8242

最後まで書き終わったら、返信用封筒に入れて、




2月12日（金）までに郵便ポストに入れて返送してください。

(切手を貼る必要はありません)

「総社市における多文化共生推進施策に関する意識調査」 調査票

番号	
----	--

回答方法

良い例 	悪い例  
1. マークは濃い鉛筆で塗りつぶしてください。	
2. 訂正する場合は消しゴムできれいに消してください。	

以下の [1] ~ [42] の質問に答えてください。
番号を選んで回答する質問には、該当する番号の○の部分に、鉛筆でぬりつぶしてください。
また必要に応じて [] に回答を記入してください。

I あなた自身について

1	性別			
<input type="radio"/> 1. 男性		<input type="radio"/> 2. 女性		

2	年齢			
<input type="radio"/> 1. 16~19歳		<input type="radio"/> 2. 20~29歳	<input type="radio"/> 3. 30~39歳	<input type="radio"/> 4. 40~49歳
<input type="radio"/> 5. 50~59歳		<input type="radio"/> 6. 60~69歳	<input type="radio"/> 7. 70歳以上	

3	あなたの職業は何ですか？			
<input type="radio"/> 1. 自営業主		<input type="radio"/> 2. 家族従業員	<input type="radio"/> 3. 自由業	
<input type="radio"/> 4. 会社経営者・役員		<input type="radio"/> 5. フルタイムの職員	<input type="radio"/> 6. パート・アルバイト・派遣・契約社員	
<input type="radio"/> 7. 学生		<input type="radio"/> 8. 専業主婦	<input type="radio"/> 9. 無職	

4	あなたの職業の業種は何ですか？			
<input type="radio"/> 1. 農林漁業		<input type="radio"/> 2. 事務職		
<input type="radio"/> 3. 販売職（店員・外交員など）		<input type="radio"/> 4. サービス業（接客員・運転手など）		
<input type="radio"/> 5. 保安職（警察・自衛官など）		<input type="radio"/> 6. 生産工程従事者（工員など）		
<input type="radio"/> 7. 専門職（教師・医師など）		<input type="radio"/> 8. 管理職（課長以上）		
<input type="radio"/> 9. その他 []		<input type="radio"/> 10. 無職		

5	あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は、次のどれにあたりますか？	
<input type="radio"/> 1. 小・中学校		<input type="radio"/> 2. 高校
<input type="radio"/> 3. 専門学校		<input type="radio"/> 4. 短大・高専
<input type="radio"/> 5. 大学		<input type="radio"/> 6. 大学院

6	あなたは現在、どなたと暮らしていますか？		
<input type="radio"/> 1. 一人暮らし		<input type="radio"/> 2. 夫婦のみ	<input type="radio"/> 3. 2世代同居
<input type="radio"/> 4. 3世代同居		<input type="radio"/> 5. その他 []	

7	あなたの現在のお住まいは次のどれにあたりますか？		
<input type="radio"/> 1. 持ち家（一戸建て、マンション）		<input type="radio"/> 2. 民間の賃貸住宅（アパート）	
<input type="radio"/> 3. 社宅・官舎		<input type="radio"/> 4. 公営の賃貸住宅	<input type="radio"/> 5. その他 []

8	総社市に住んでどのくらいになりますか？		
<input type="radio"/> 1. 2年未満		<input type="radio"/> 2. 2年以上5年未満	<input type="radio"/> 3. 5年以上10年未満
<input type="radio"/> 4. 10年以上20年未満		<input type="radio"/> 5. 20年以上	<input type="radio"/> 6. 生まれてからずっと

9	生まれてから15歳までの間に、もっとも長く住んでいたのはどこですか？		
<input type="radio"/> 1. 総社市		<input type="radio"/> 2. 岡山市	<input type="radio"/> 3. 倉敷市
<input type="radio"/> 4. 総社・岡山・倉敷市以外の岡山県内		<input type="radio"/> 5. 岡山県以外	

総社市における多文化共生推進施策に関する 意識調査報告書

平成 28（2016）年 6 月

編集・発行：総社市 市民生活部

人権・まちづくり課 国際・交流推進係

〒719-1192 岡山県総社市中央一丁目 1 番 1 号

電話：(0866) 92-8242 FAX：(0866) 93-9479

E-mail：jinken-machi@city.soja.okayama.jp

URL：http://www.city.soja.okayama.jp/
